



かねこ ひろし
金子 博

こうしょう
犬の咬傷事故を受けて、ペットの
管理と予防接種の対策

市に登録している犬の数は

答弁 令和5年度末現在3,306頭の犬の登録

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 市に登録を義務付けているペットは、犬のほかにあるのか。

答 犬の所有者は、狂犬病予防法に基づき、犬の登録が義務付けられているが、犬以外のペットについては、登録義務はない。人の生命、身体または財産に害を与える恐れがある動物は、特定動物と定め、飼育することが禁止されている。

問 狂犬病予防接種を受けている犬の数と接種率は。

答 令和5年度は3,306頭の登録に対し、2,527頭の犬が受け接種率は76%。

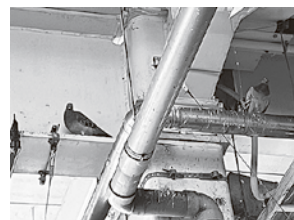
武蔵高萩駅内のハトのふん害について

問 ハトのふん害に対し、市ではどのような対策をしてきたのか。

答 自由通路の部分のハト対策として防鳥ネットの設置、鳥よけ用の剣山の設置。2日に1回の床の清掃、年6回のワックス清掃等。

問 今後の対策はどのようなことを行うのか。

答 JR東日本大宮支社と連携し現地の状況を把握した上で、複数の専門業者から提案を受け効果的な対策を講じていく。



武蔵高萩駅に住みつくハト



さと う まこと
佐藤 真

多くの方が望む学校給食費無償化
の早期実現を

学校給食費無償化の今後の予定は

答弁 令和7年4月から学校給食費無償化を開始できるようにする

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 学校給食費無償化にあたって、特別支援学校に通う児童生徒への支援が必要と考えるが見解は。

答 市外の小・中学校に在学する、食物アレルギー等で学校給食を食べないなど学校給食を喫食していない児童生徒には、給食費相当の支援制度の検討を進める。特別支援学校に通う児童生徒も、市の学校給食を喫食していないことから、先行している他団体の例などを参考に総合的に判断していく。

問 現在の市政において、解決されるべき課題について、市長の見解は。

答 1つ目は「人口減少と少子高齢化への対応」であり、子育て教育支援や新たな地域公共交通の導入に取り組む。2つ目として「魅力にあふれ持続可能なまちづくり」であり、市民とともに自然環境や歴史・文化を継承しながら、災害に強いまちづくりに取り組む。3つ目として「市民の生活を守る物価高騰への対策」であり、国の総合経済対策を踏まえた給付や市独自の生活困窮者への支援、生活者や事業者への支援に取り組む。